

公表

事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	放課後等デイサービス まほろばplus			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご要望があった時には、迅速に対応することを心がけている	保護者様からご質問やご要望があれば、すぐに職員間で共有するよう意識している	連絡帳や送迎時に、保護者様とコミュニケーションをとるように意識している
2	新人職員への研修や業務内容の説明を充実させて、職員の質の向上を図りたい	新人職員から質問があれば、すぐに職員間で共有し、悩みや不安を解消できるような雰囲気づくりを心がけている	ミーティングの時など、児童の様子や状況を伝え合い、児童の困り感に早期に気づけるような支援ができるようにしている
3	就学に向けて、少しでも経験値を上げることができ るプログラムを全職員で考えている	楽しみながら苦手なことにもチャレンジできるよう な声かけ支援やプログラムを立案している	好きな活動も取り入れながら、苦手な事にチャレ ンジしたら、表彰状やメダルなどで頑張りを認 め、達成感を感じられるようにしている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員の不足	個別のケアが必要な児童に対しての支援者が不足している	職員の数を確認し続けられるよう、人材の確保に努める
2	事業所が狭い	テナントの面積なので、この場所で活動の工夫をしていくようにするしかない	児発と放デイで、戸外の活動を取り入れる等して、分けて活動を行っている
3			

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表：令和7年3月14日

事業所名：放課後等デイサービス まほろばplus

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	6	児発と放デイで分けて、活動している 個別指導を行いたい時に部屋が必要と感じる
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2	個々の特性もあり、加配が必要な児童がいる日は、配置増の必要を感じる
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	3	身体を動かしたい時は、戸外活動を取り入れるようにしている
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	7	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	ジョブメドレーアカデミーは、いつでも受講できるので良い
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	業務終了後は、送迎の関係で話し合えない為、その都度ふりかえりを行い、確認するようにしている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	サービス担当者会議が、ほぼない
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	3	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	3	対象の児童がいない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	送迎の際に、児童の様子をお伝えし、情報共有できているようにしている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	送迎の際に、児童の様子をお伝えし、情報共有できているようにしている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会があるか		6	
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4	業務が忙しく、参加が難しい
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	4	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	3	
非常時等の	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3	

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	2	2	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	対象の児童がいない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	1	対象の児童がいない

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

アンケート実施方法

実施期間：2025年2月～3月の1か月間

配布対象：7人（回収率100%）

（総評）

新人の職員にも配布したということもあり、実際の業務内容が不明な箇所もあることが分かった。今後は、医療的ケア児や身体拘束が必要となる児童もいるかもしれないので、全職員で組織的に相談・決定し、チームで児童の為に支援を行っていけるよう心がけていきたい。また、忙しい中でも、児童の情報共有を怠らず、日々の支援に活かせるよう努めていきたい。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表：令和7年3月14日

事業所名：放課後等デイサービスまほろばplus

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1		2	程よく先生方の目が届く範囲での活動となっており、安心。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14				いつも相談にのっていただき、すぐ有難いです。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 ⁱ になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ⁱⁱ が作成されているか	14				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14				
	⑧	活動プログラム ⁱⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	14				家庭では、なかなかできないような活動をしていただき、ありがたい。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6		1	7	
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13			1	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ^{iv} 等）が行われているか	7		2	5	困った時の対処の仕方など、的確に教えていただけます。 活動や食事の様子などを伝えて下さり、ウェブカメラでも様子が見られるのが助かる。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	1			連絡帳や送迎時に伝えてくださっています。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11		2	1	定期的にではないが、必要に応じて助言等いただき、有難いです。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	4	6	仕事をしているので、あまり他の保護者さんと連絡するようなことはない。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13			1	幼稚園でうまくいっていない時、相談すると日数を増やしていただいたり、すごく助かりました。 相談や申し入れへの対応がとても柔軟で、判断が早いので、保育所との連携もとりやすいです。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	1	3	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13			1	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12			2	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			6	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13		1		家では毎回「行きたくない」と言い、水曜がいつ来るか気にしていますが、すんなり行っているようで安心しています。 通所回数は少ないですが、毎週楽しみに待っています。 いつも、とても楽しみにしており、本人の口から「まほろば」という言葉が出る。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	14				色んな体験・経験をさせていただき、ありがとうございます。 子供の成長を強く感じ、安心して通所させていただいている。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特

性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

（保護者等の皆様へ）

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

アンケートの実施方法

実施期間：2025年2月～3月の1か月間

配布対象：17人 回収数14人（回収率約82%）

（総評）

一昨年、去年から児発の児童数の減少があります。次年度から放デイに上がる児童もいて、今後さらに未就学児は減少傾向です。スムーズに小学校生活に移行できるよう、園の先生方と情報共有を行いながら日々の支援につなげています。今後も、拘りをもちながらも、色々なことにチャレンジして、少しでも児童の世界を広げていくことができるようサポートしていきたいと思います。